

平成24年4月24日

広報広聴課

電話：0742-34-4710(ダイヤルイン)

## 平成23年度 奈良市民意識調査について

### 1. 調査目的

「奈良に住みたい」「これからも奈良に住み続けたい」と感じていただけるような、安心して暮らせる魅力あるまちづくりを目指すために、市民の皆様の率直なご意見をお伺いし、今後の奈良市政のあり方を考える資料として使わせていただくことを目的に実施しました。

### 2. 調査期間

平成24年1月27日～2月20日

### 3. 調査方法

調査対象 20歳以上の男女各1,500名、計3,000名 無作為抽出  
 調査方法 郵送法

### 4. 回収結果

	今 回		前回(平成21年度)	
	人数	割合	人数	割合
有効回収数	1,810人	60.3%	1,980人	66.0%
無効回収数	0人	0.1%	2人	0.1%
事故数(不達)	13人	0.4%	8人	0.3%
未回収数	1,177人	39.2%	1,010人	33.7%

回収割合 性別 男性 43.6% 女性 55.1%  
 年齢 70歳以上 24.8% 60歳代 22.4% 40歳代 16.3%  
 家族構成 二世帯世帯 47.2% 夫婦のみ 28.9% 単身 10.1%  
 職業 無職 31.3% 会社員・公務員 27.0% 家事従事 15.4%

## 5. 調査項目

設問数 28 問（補問も含め 35 問）

1. 奈良市の住みやすさについて：5 問（総合政策課）
  2. 防災対策について：5 問（危機管理課、建築指導課、消防局予防課）
  3. 子育てについて：6 問（子ども政策課、子ども育成課、子育て相談課）
  4. 環境について：4 問（環境政策課）
  5. 奈良しみんだよりについて：2 問（広報広聴課）
- ・ 市政への意見・要望：1 問
  - ・ 基本調査項目（属性・居住地域など）：5 問

## 6. 概要

### （1）奈良市の住みやすさについて

「住みやすさ」について、約 80%の人が住みやすいと答えた。満足度が高かったのは「災害の少なさ」が約 85%でトップ、次に「文化財の豊かさ」「緑の豊かさ」が続いている。不満度では「生活道路の整備」が 38%で、「公共交通の利便性」が約 30%となっている。満足度指数と重要度指数から、今後、積極的に対応を図るべきと考えられる項目は「交通安全対策」、「高齢者福祉」、「健康づくり・医療体制」、「学校教育の充実」、「生活道路の整備」、「公共交通の利便性」である。

### （2）防災について

各家庭や地域では、約 6 割が何らかの防災対策に取り組んでおり、特に何も防災対策をしていない人は 37.5%、防災に対する意識が高まっていることが伺える。

市が取り組むべき防災対策として約 5 割が避難勧告等を迅速に伝える施設の整備を望んでいる。

### （3）子育てについて

市に力を入れて欲しい子育て対策について、5 割が「休日・夜間の乳幼児・小児医療の充実」を望んでいる。また、少子化の原因として、7 割が「子育てのための経済的負担」、6 割が「仕事と子育ての両立の難しさ」を挙げている。

### （4）環境について

9 割が冷暖房の設定温度についての意識を持っている。また、マイカーの所有率は 7 割であり、そのうちの 1 割がハイブリット車や電気自動車等の低公害車である。

### （5）「奈良しみんだより」について

約 8 割が市政に関する情報を「奈良しみんだより」から得ている。